

令和7年度事業実績報告書

令和8年4月30日

愛媛県議会議長 松尾 和久 様

議員氏名 高橋 英行



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

1 調査研究の概要

【目的】「いつまでも暮らしていける南子に。そして愛媛に。」の実現

(1) 南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災対策

西予市及び伊方町にて「令和7年度国及び愛媛県原子力防災訓練（11/28～30）」を視察。愛媛県伊方町沖の中央構造線帯を震源とした地震が発生し、運転中の四国電力株式会社伊方発電所3号機の原子炉が自動停止した後、全交流電源の喪失及び原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による注入不能が発生したことにより、原子炉格納容器の破損に至り、放射性物質の放出による影響が発電所周辺地域に生じたという想定で、各種防護対策を実施。

オフサイトセンター運営訓練の「現地災害対策本部及び図上訓練」、八幡浜・大洲市住民避難・誘導訓練の「避難帯域時検査訓練」、緊急時モニタリング訓練の「6種類の無人航空機（ドローン）活用訓練」、伊方町住民避難・誘導訓練の「可搬式エアシェルター展開・設営訓練等を視察した。

内閣府、原子力規制庁や自衛隊等の行政機関、地方公共団体、公共機関・団体、そして原子力事業者等の全96機関、約2万人が参加した13項目の訓練を通じて、発電所から30km圏内の住民の安全を確保するため、愛媛県地域防災計画等に基づき、防災業務関係者及び地域住民が一体となって原子力防災訓練を実施し、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進し、平成27年に国が取りまとめた「伊方地域の緊急時対応」に掲げた各種対策の実効性の更なる向上に取り組んだ。



(2) 地方創生時代を生き抜く地域産業の振興

南予地域の基幹産業である果樹農業振興の為、愛媛県議会果樹農業振興議員連盟理事として、「全国みかん生産県議会議員対策協議会（5/20・11/7）」に出席し、「かんきつ産地の体質強化に関する提案」について協議及び意見交換を行い、農林水産省等へ要望活動を行った。また、愛媛県果樹研究センターみかん研究所（8/26）を視察し、災害復旧を中心とした基盤整備、南予地域における西日本豪雨災害からの復旧・復興、主な研究成果等について意見交換を行い、西日本豪雨災害で被災した、玉津樹園地白浦工区の再編復旧状況を視察した。

愛媛県議会果樹議連を代表して東京都中央卸売市場・大田市場（11/6）を視察し、日の丸・真穴・川上等の早生温州みかんの初競りにおける「えひめ愛フード推進機構トップセールス」に参加し、中村知事や県営業本部長、農協関係者らと愛媛の柑橘をアピールの後、市場関係者らと意見交換を行い、県産柑橘の販路拡大に取り組んだ。

（一社）大日本水産会主催の「第 27 回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー（8/20～22）」を視察。「魚食のさらなる普及」をテーマに、魚・水産物にこだわった国内最大の水産展示商談会で、約 25,000 人の来場者の中、県内 18 企業・団体も出展しており、県水産局関係者らと県産水産物の販路開拓に取り組んだ。

愛媛県議会国際交流促進議員連盟（日越部会）理事として、日本と友好関係にあるベトナム社会主義共和国との友好親善と経済貿易の促進を図ることを目的に、経済成長が顕著なベトナム南部の中心のホーチミン市を視察（2/11～15）した。

日本貿易振興機構（JETRO）ホーチミン事務所にて、ベトナムの経済概況と進出日系企業同行等についての意見交換。日本企業向けに高品質なベトナム人技能実習生・技術者の育成および派遣・紹介を行う総合人材会社の ESUHAI（エスハイ）グループにて、会社・グループ概要と、ベトナム優秀人材の採用と長期的育成による、将来の熟練人材・専門人材・管理人材獲得等についての意見交換と日本語教室視察。レンタル工場を運営する、ドンナイ省ニョンチャックⅢ工業団地内の日系中小企業開発（株）（JSC）にて、株主の（株）フォーバル担当者から、JSC 概要説明と工場視察。

愛媛県が進める、ベトナム・ビンロン省との経済協力に関する覚書を軸にした「ビジネス機会の創出」と「人材の受入促進」に取り組んだ。

2 その他の政務活動の概要

(1) 「県政グリーンレポート」の制作及び配布

愛媛県議会「第 390 回定例会（12 月議会）」と「第 392 回定例会（6 月議会）」での一般質問における質問及び理事者答弁概要をレポートとしてまとめ、八幡浜市と伊方町への配布や HP への掲載等、県政に関する施策等の広報に取り組んだ。また、「2026 新春特別号」として 2025 年の政務活動レポートを制作し、県施策等の広報に取り組んだ。